

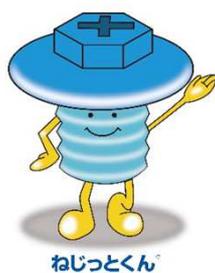
2016年版

# 環境報告書



2017年7月

日東精工株式会社



「私達は、環境にやさしい企業を築くため、

みんなで努力して行動します」

## 目 次

ご挨拶	.....	2
会社概要	.....	3
環境方針	.....	4
環境管理体制	.....	5
環境目的目標	.....	6
環境目標実績	.....	7
環境活動	.....	8
環境コミュニケーション	.....	10
環境管理コスト	.....	11
環境品質保証	.....	12
省エネルギー活動	.....	13
水質汚濁物質	.....	14
廃棄物量・リサイクル率	.....	15

### 報告書の対象範囲

1. 報告書の対象範囲は本社工場、八田工場、城山工場、制御システム工場です。
2. 報告期間は、2016年1月1日～2016年12月31日です。
3. 報告対象は環境分野です。



## ごあいさつ

「環境報告書2016年度」を発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

2016年度を振り返ってみると、日本は大規模な地震、噴火、台風による記録的大雨や甚大な被害と数々の自然災害が発生し、大きな経済的損失がありました。地球温暖化は平均的な気温上昇のみならず、異常高温や大雨など様々な気候の変化を伴います。将来、地球の温暖化は自然・社会・経済にも深刻な影響が生じると予想され、地球温暖化問題に真剣に取り組んでいく必要があると考えます。

当社において今年度は、中期経営計画「日東パワーアッププランFINAL」（平成27年～30年）の3年目にあたり、折り返しを過ぎた地点にいます。最終年度である平成30年は「締結・組立・計測検査における真のグローバルメーカー」となるために、今年度は昨年までの2年間をしっかりと検証し、来年度のラストスパートにつなげていかなければなりません。事業展開を進めていくにおいては①地球温暖化防止（省エネルギー化の促進、CO2排出量の削減）②循環型社会の形成（廃棄物の削減）③製品の環境性能の向上（環境配慮型製品の拡大）④環境感染予防（地下汚染対策・水質汚濁防止）を念頭に置き、飛躍していきたいと考えております。

2016年の環境報告書では、当社が実践した環境貢献の代表的な事例を中心に紹介しています。私どもの日ごろの環境活動の一端をご理解いただき、取り組みや活動につきまして、ご意見いただけましたら幸いです。

2017年7月吉日



代表取締役社長  
材木 正己

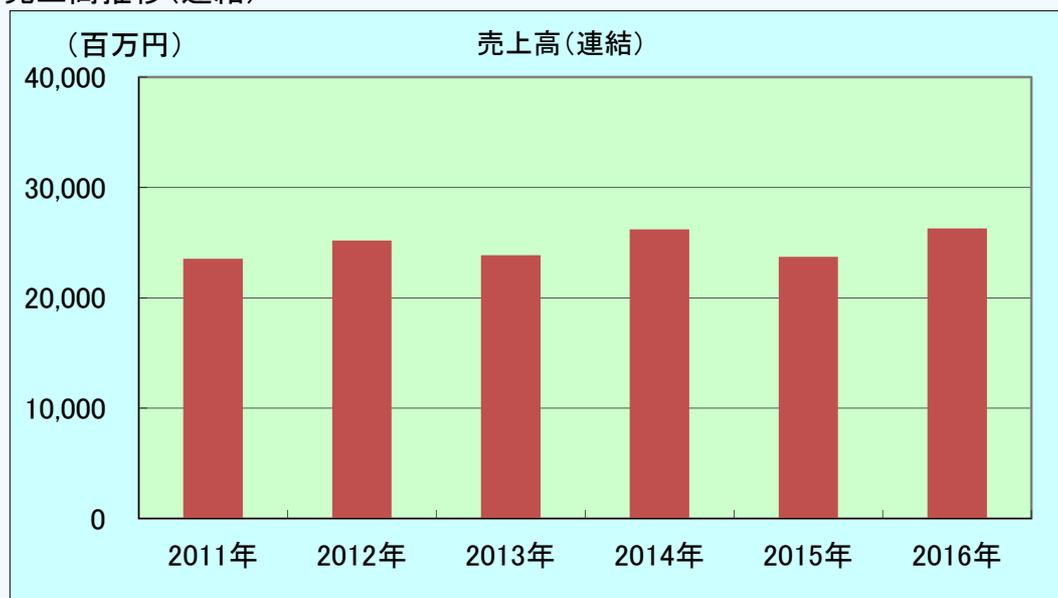


## 会社概要

(2016年12月31日現在)

社名	日東精工株式会社 NITTO SEIKO CO.,LTD
所在地	本社／623-0054京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
代表者	代表取締役社長 材木 正己
設立	1938年2月25日
資本金	3,522百万円
従業員数	1,518名(連結) 544名(単体)
主要生産品目	極小ねじ、精密ねじ、タップタイトねじ、特殊冷間圧造部品、ピン及びリベット ねじ製造用工具 自動ねじ締め機、自動組立機、産業用ロボット、ドライバ、ねじ供給機 各種流量計、LPGディスペンサ、データロガー 地盤調査機(ジオカルテ)、検査装置

### 売上高推移(連結)



## 国内拠点



# 環境方針

## 環境基本方針

企業活動を展開する上において、環境保全を最重点とし、地域環境と地球環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。

## 基本理念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取組みを実践し、社会に信頼していただける会社を築いていきます。

## 行動指針

1. 法的要求事項及び関係するその他の要求事項を遵守し、汚染予防に努めます。
2. 省エネルギー、省資源に努めます。
3. 廃棄物の減量化とリサイクルの推進に努めます。
4. 地球環境に影響を与える物質の削減に努めます。
5. 商品・サービスの提供にあたっては、環境影響に十分配慮します。
6. 環境意識の向上を図り、全員で取組みます。
7. 地域との共栄を図り、社会への貢献と信頼を得るよう努めます。

## 社長コミットメント

当社は事業活動として、工業用ファスナー・自動組立機械・計測制御機器等の製造販売を行い、社会に貢献していきます。その事業活動を行うにあたり、環境保全への取組みを企業経営の最優先事項の一つと位置づけ

「私達は、環境にやさしい企業を築くため、  
みんなで努力して行動します」

をスローガンに、経営層をはじめ全従業員が地域環境と地球環境を念頭におき、地球温暖化防止、環境負荷と環境リスクの低減に努めます。

1. 事業活動、製品について環境影響評価に基づき、環境管理活動を技術的・経済的に可能な範囲で、全員で取組み、環境目的および環境目標を設定、推進し、汚染の予防と継続的な改善・向上に努めます。
2. 環境保全に関する法令と、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 地域との共生を図り地域への貢献と信頼を得るよう努力します。
4. 環境方針は掲示し、全従業員と組織で働く全ての人々に環境カードを配布し、周知徹底を図ります。

この環境方針は、社内外に公表します。

2017年 1月 1日  
代表取締役社長 材木 正己



## ISO14001 認証登録経過

2000年5月 本社工場・八田工場ISO14001:1996認証登録

2005年5月 本社工場・八田工場ISO14001:2004移行登録

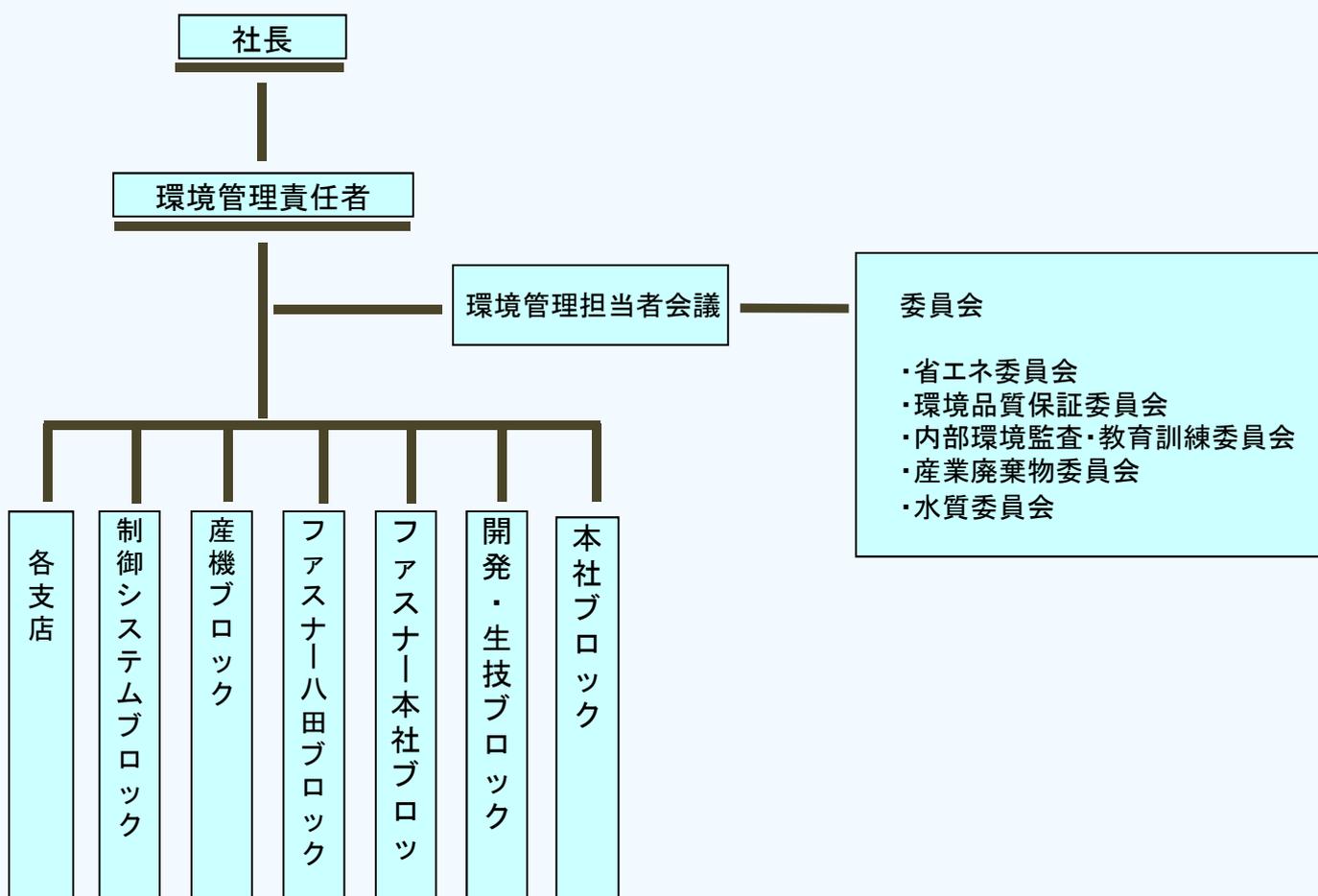
2008年7月 城山工場・制御システム工場ISO14001認証登録

城山工場と制御システム工場の認証取得により、全ての工場において環境管理システムを推進中です。

\* 2015年にISO14001規格の改訂版(2015年版)が発行されました。現在の2004年版から2015年版の移行に向けて取り組んでいます。

## 環境管理体制

社長以下、環境管理責任者のもと、各部門において、環境管理活動を展開しています。また全社の委員会として、環境管理担当者会議、専門委員会として各推進委員会を設置し、目的目標の達成に向けた活動を行い、各部門で展開しています。



# 環境目的目標

日東精工 環境目的

2017年 1月 1日制定

日東精工株式会社の環境目的・目標を以下に定める。

日東精工株式会社  
代表取締役社長 材木 正己

<b>環境目的の策定</b> 環境方針に基づき、2015年から4年間の環境目的を策定する	
<b>環境目的</b>	
1. 地球温暖化の防止 ・省エネルギー化の促進 ・CO2排出量の削減  2. 循環型社会の形成 ・廃棄物の削減  3. 製品環境性能の向上 ・環境配慮型製品の拡大 ・グリーン調達を推進 ・製品含有化学物質管理の強化  4. 環境汚染の予防 ・地下汚染対策の強化 ・水質汚濁防止の強化	【地球温暖化防止目標値】  CO2排出量を2018年に781.5t-CO2(10.2%)削減する(2014年目標比)  『内訳』 (1) 電力消費量を168.9万kWh削減(2014年目標比) (2) 灯油消費量を78.6kℓ削減(2014年目標比) (3) LPG消費量を18.0t削減(2013年実績比)  『原単位』 (1) 4%以上削減(2014年目標比)
<b>環境目標</b> 環境目的に基づき 2017年 の環境目標を定める	
1. CO2排出量を97.2t-CO2(1.4%)削減する(2016年目標比) 『内訳』 (1) 電力消費量を19.4万kWh削減(2016年目標比) (2) 灯油消費量を4.0kℓ削減する(2016年目標比) (3) LPG消費量を4.5t削減(2016年目標比) 『原単位』 (1) 2%以上削減(2014年目標比)・・・4.67以下 2. 廃棄物排出量を削減する (1) 6R(リデュース、リユース、リサイクル、リファイン、リペア、リフューズ)の推進 (2) 工程内及び完成品不良の削減 『原単位』 (1) 3%以上削減(2014年実績比)・・・2.55以下 3. 環境配慮型製品(エコプロダクツ)を拡大する (1) 環境性能を向上した製品設計・開発 4. グリーン調達を推進する (1) 環境負荷がより少ない物品調達 5. 製品含有化学物質管理を強化する (1) 適切な管理のためのしくみ及びルール設定 6. 地下汚染対策及び水質汚濁防止を強化する (1) 排水施設、貯油液施設、薬液類の管理強化 (2) 緊急事態対応マニュアルの整備と訓練実施	



## 環境目標と実績

環境目的	2016年環境目標	2016年活動実績
地球温暖化の防止	温暖化物質の削減 CO2排出削減目標： 97.2 t 排出目標： 7,064.9 t	CO2排出削減実績： 82.5 t 排出実績： 7,079.6 t 目標未達成
	電力の削減 削減目標： 194.0千kWh 消費目標： 14,262.5千kWh	削減実績： 302.3千kWh 消費実績： 13,960.2千kWh 目標達成
	灯油消費量の削減 削減目標： 4.0kℓ 消費目標： 292.1kℓ	削減実績： 74.2kℓ 消費目標： 221.9kℓ 目標達成
	LPG消費量削減 削減目標： 4.5 t 消費目標： 324.0 t	LPG消費量削減 削減実績： -79.6 t 消費目標： 408.0 t 目標未達 ※熱処理炉稼働時間増加により、消費量が増加しました。
循環型社会の形成	廃棄物排出量の削減 削減目標： 4.3t 排出目標： 417.4t	廃棄物排出量の削減 削減実績： 45.4t 排出目標： 376.3t 目標達成
環境汚染予防	排水配管、構内側溝の点検清掃実施	計画通り実施
	工業排水・地下水水質監視	計画通り実施
	緊急事態対応マニュアルの整備と訓練実施	計画通り実施



## 環境活動

### 環境活動

#### 外部監査

3月に外部認証機関による定期審査を受審しました。  
軽微な不適合:2件、改善事項3件ありましたが即時是正処置を実施し、  
認証を維持しております。

#### 内部監査

10月から11月にかけて、社内認定内部監査員による内部環境監査を実施しました。  
38の部門・ブロック・各委員会全て内部監査を行い、環境管理システムの運用状態等  
PDCAサイクルが機能しているかの確認を行いました。

### 環境教育

#### 環境教育実施項目

- ・新入社員教育
- ・一般教育
- ・内部環境監査員教育
- ・管理監督者教育
- ・特定業務従事者教育

#### 防災訓練

各工場において、緊急事態を想定した防災訓練を実施しました。



## 環境法遵守

環境設備	水質及び大気に係る特定施設の届出を行うとともに、地下浸透防止など環境に配慮した設備導入、維持管理に努めています。
環境測定	大気、水質、騒音、振動測定を定期に実施しています。全て京都府条例基準を遵守しています。
報告書	エネルギー指定工場、産業廃棄物年次報告、PRTR年次報告、京都府地球温暖化対策条例年次報告など全て届け出を行っています。
廃棄物	一般廃棄物・産業廃棄物は全て適正処理を行っています。

## 環境リスク

### 温暖化物質削減への対応

水銀灯及び蛍光灯を省エネ型照明器具(LED)に切り替えや空調機においても省エネ型に更新を進めています。

### 工場排水

工場排水基準として、自主基準値を設定し、水質測定を実施しております。基準値の超過はありませんでした。

### 緊急時対応

火災や地震、薬品、油類の漏洩を想定し、毎年訓練を行っています。

### 化学物質管理

商品へ影響をする有害物の使用は全廃しました。購入時点での安全データシート等の管理を徹底し、工程内に有害物汚染がないように管理をしています。

### 環境リスク管理

土壌汚染・地下水汚染、騒音、大気放出などの問題の発生を予測し、事前に対応し、リスク回避に努めています。

### 事故・苦情への対応

2016年においては環境の事故発生、苦情の発生はありません。



## 環境コミュニケーション

○環境報告書は、会社ホームページにて公開しています。

アドレス <http://www.nittoseiko.co.jp/>

○地域連絡会

地域との環境対応を進める目的で、自治会関係者の方々に出席いただき毎年開催しています。

○環境活動

4月に開催される綾部市シルバー人材センター主催の由良川花壇展に参加しています。

6月と11月に上林地区の森林でモデルフォレスト活動として、間伐の際の伐倒作業の方法等を研修しました。

『あやべ水無月まつり』の翌朝に行われる清掃活動クリーン水無月に参加しています。

○奉仕活動

地域の清掃活動や「あやべ良さ来い」おどり、夏まつりに参加しています。

小学生を対象としたサマースクールを開催しました。



モデルフォレスト活動



由良川花壇展



「あやべ良さ来い」おどり



クリーン水無月(清掃活動)



サマースクール

## 環境管理コスト

対象期間:2016年 1月 1日~2016年12月31日

(単位:千円)

	投資額	費用額	合計	主な内容
公害防止	16,605	12,091	28,696	大気汚染防止 水質汚濁防止 土壌汚染防止 騒音防止 その他の公害防止
地球環境 保全	15,303	17,921	33,224	地球温暖化防止及び省エネルギー オゾン層破壊防止 その他の地球環境保全
資源循環	0	10,159	10,159	資源の効率的利用 一般・産業廃棄物のリサイクル等 一般・産業廃棄物の処理・処分 その他の資源循環
上・下流				
管理活動	9,771	4,830	14,601	環境マネジメントシステムの整備、運用 環境情報の開示及び環境広告 環境負荷監視 従業員への環境教育等 事業所及事業所周辺の緑化、美化等
研究開発	132,381	1,897	134,278	環境保全に資する製品等の研究開発 製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発 その他、物流段階や製品等の販売段階等における環境負荷の抑制の ための研究開発
社会活動	50	191	241	事業所及び事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環 境改善対策 地域住民の行う環境活動に対する支援及び地域住民に対する情報提 供等の各種の社会的取組
合計	174,110	47,089	221,199	



# 環境品質保証

## 環境品質保証に関する方針

### 基本理念

日東精工株式会社は、地球環境の環境保全を優先課題の一つとして強く認識し、企業活動のあらゆる面で環境問題に配慮して行動し、社会の発展に貢献する。生産に関する部品、材料、製造工程における地球環境への影響を配慮し、環境にやさしい製品の提供を行う。

### 環境品質保証に関する方針

日東精工株式会社は「顧客に対し最大の満足を提供する」をビジョンとし、事業活動に関わる環境品質保証の物質を以下のように定め使用禁止、全廃を図る。

#### 1. 使用禁止物質

- ①カドミウム及びカドミウム化合物
- ②PBB（ポリブロモビフェニル）類及びPBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）類
- ③PCB（ポリ塩化ビフェニル）類
- ④ポリ塩化ナフタレン類
- ⑤有機すず化合物（トリブチルスズ類・トリフェニルスズ類）
- ⑥石綿（アスベスト）
- ⑦アゾ化合物（分解によりアミンは発生する可能性があるもの、人体に持続的に触れることを前提として作られた製品の人体接触部分）
- ⑧ホルムアルデヒド
- ⑨塩素系有機溶剤（ジクロロタン、トリクロエチル、テトラクロエチル、1, 2, 2-トリクロエタン、1, 2-ジクロロタン、1, 1-ジクロロエチル、シス-1, 2-ジクロロエチル、クロロホルム等）
- ⑩HCFC（代替フロン）類
- ⑪POPs（残留性有機汚染物質）（PFOA、PFOS等）

#### 2. 全廃物質

- ①水銀および水銀化合物
- ②PVC（ポリ塩化ビニル）及びPVC混合物
- ③PBB、PBDE以外の有機臭素化合物（臭素系難燃剤）
- ④塩素化パラフィン（塩素系難燃剤・可塑剤）
- ⑤鉛および鉛化合物
- ⑥六価クロム化合物

日東精工株式会社は上記環境管理物質に該当する物質が発生した場合、使用禁止、全廃の措置をとる。尚、環境品質保証の全廃の期限を「別紙 環境品質保証全廃・削減計画表」に記し徹底する。この環境品質保証に関する方針は全社員に周知すると共にユーザー先からの要求に対して開示する。

## 環境品質保証システム

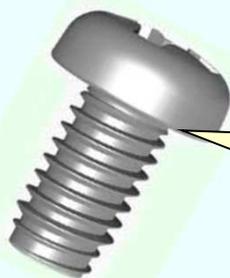
環境品質経営責任者をトップに環境品質保証体制を確立しています。原材料や購入品の調達においては、有害物質が含有しないように、受入検査を実施し、製造工程では、使用する薬品や補助材料、機械装置からの汚染がない仕組みを、出荷検査は、有害物質の含有がないことを保証する仕組みを確立しています。

## 管理項目

- ・取引先との品質環境協定書の締結
- ・購入品の不使用証明書、エビデンスの入手
- ・内部環境品質監査の実施
- ・トレーサビリティの管理
- ・環境品質教育の実施
- ・不適合・是正の管理
- ・法規制及びユーザ基準の遵守

## 環境品質保証の対象物質

- 法規制及びユーザ基準に定められた含有禁止物質は使用していません。
- ・ELV・RoHS指令物質
  - ・REACH規制対象物質
  - ・POPs条約物質
  - ・ユーザグリーン調達ガイドラインに定める物質



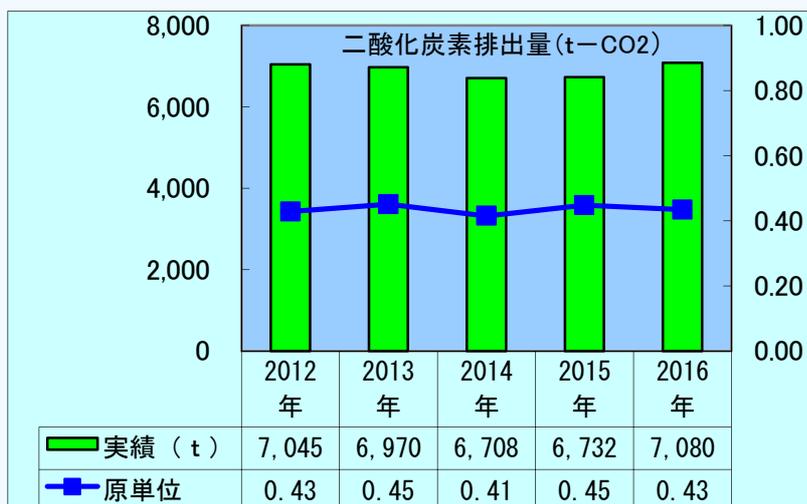
## 環境品質保証製品の提供

有害物質を入れない、使わない、出さないの「3ない活動」により、環境品質保証製品の提供を御約束します。

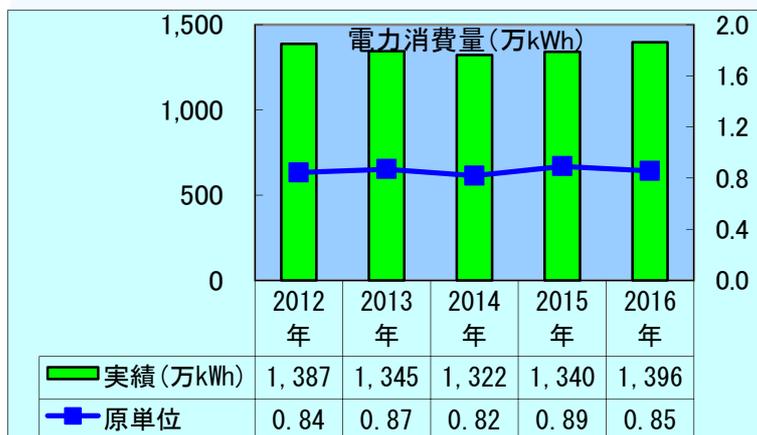
## 省エネルギー活動

地球温暖化物質の削減(CO<sub>2</sub>排出量の削減)を目的として、電力消費量の削減、灯油消費量の削減、製品不良率の削減、産業廃棄物の削減に取り組んできました。

結果として、二酸化炭素の排出量は前年度比348t-CO<sub>2</sub>の増加、原単位としては0.02ポイント減少となりました。排出目標値7,065tに対しても15t上回りました。



### 電力量の削減



工場や事務所内の水銀灯や蛍光灯のLED化、省エネタイプの空調機の更新を進めて参りました。また、工場のシャッター部に遮熱塗装を施し、室内の温度上昇を抑制しています。

しかし、猛暑による夏季の冷房等で消費量は前年比で56万kWh増加しました。原単位では0.04減少しました。



照明のLED化

シャッターの遮熱塗装

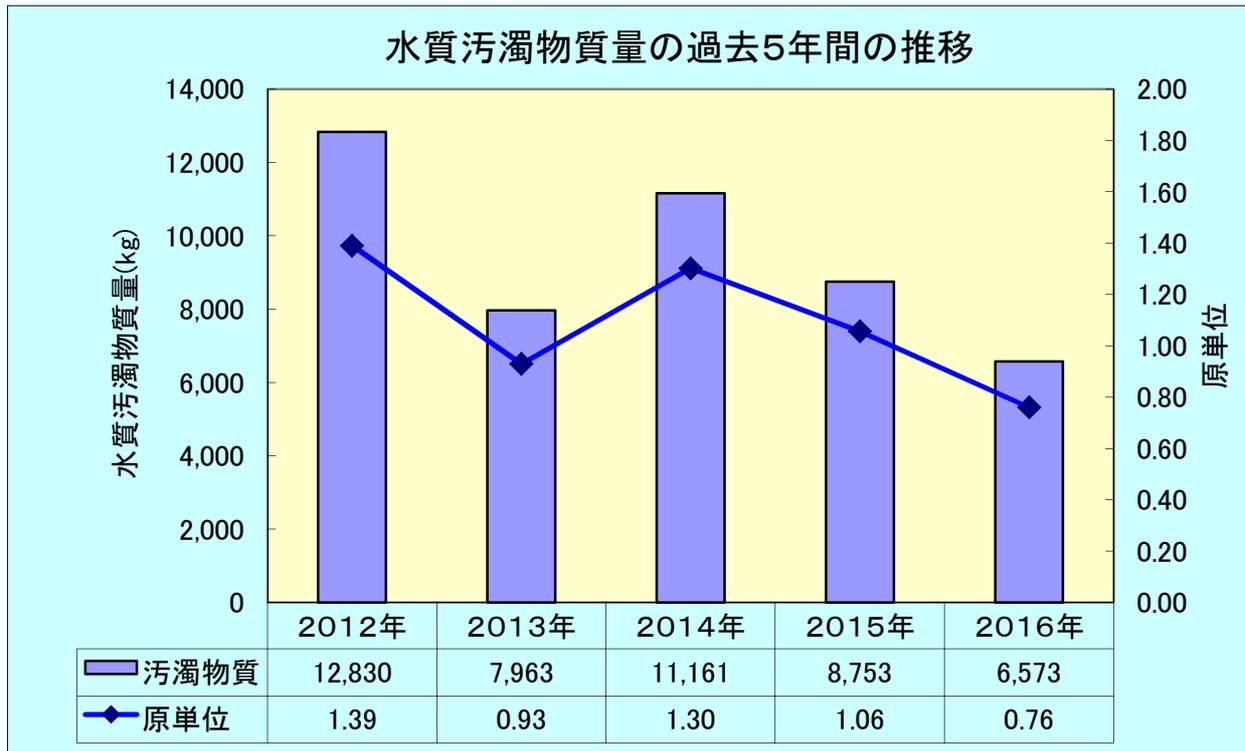
### 燃料の削減



省エネ型空調機

灯油暖房機から省エネタイプの空調機の転換により灯油は大きく削減できましたが、熱処理炉の稼働時間拡大によりLPGの消費量が増加しました。

## 水質汚濁物質

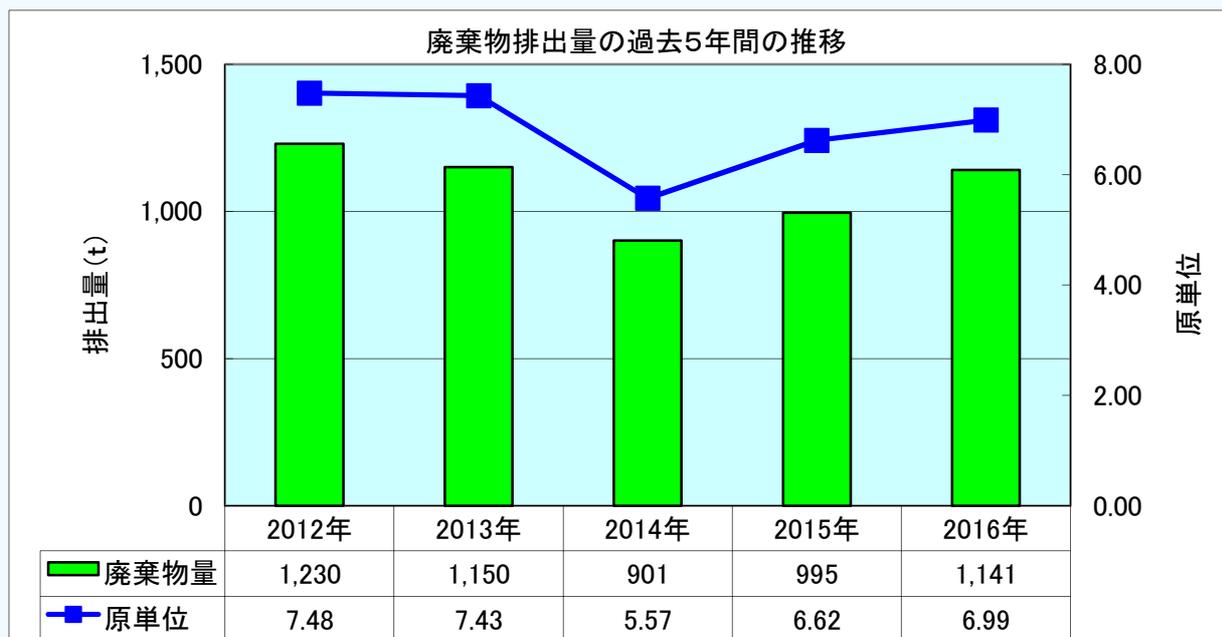


2016年度実績は2年連続で大きく減少しています。継続して自主排水管理基準内の安定化を図っていきます。

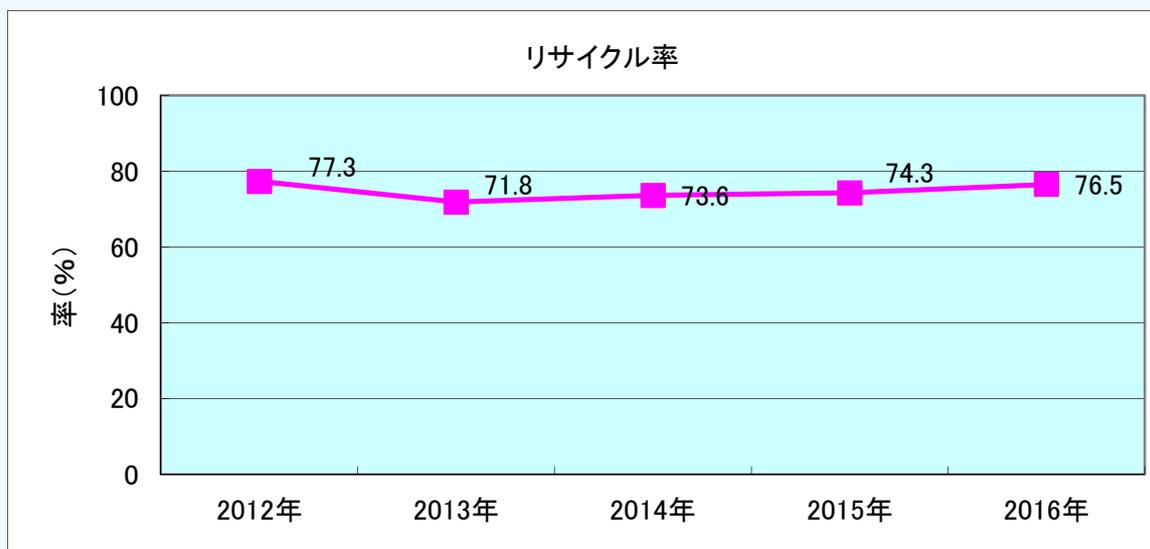
測定項目	測定値(mg/l)	
	平均値	最大値
水素イオン濃度(PH)	7.02	7.78
生物化学的酸素要求量(BOD)	7.67	34.16
浮遊物質(SS)	3.42	6.00
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	-----	<2.0
六価クロム	-----	<0.04
全クロム	0.10	0.27
亜鉛	0.85	1.74
ニッケル	0.26	0.81
銅	0.02	0.04
溶解性鉄	0.45	0.87



## 廃棄物排出量



工程内廃棄、汚泥、廃油、廃プラスチック等の削減に取り組みましたが、前年比で廃棄物量が146t、原単位で0.36増加しました。引き続き工程内廃棄や製品廃棄の削減、有価物化への推進に取り組んで参ります。



主に工程内廃棄物の削減、廃プラスチック類のリサイクル化に取り組んだ結果、2.2ポイントリサイクル率の向上ができました。

## 国内拠点

本社	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-3111
ファスナー事業部 本社工場	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-8020
ファスナー事業部 八田工場	〒623-0116 京都府綾部市下八田町菩提10 TEL(0773)42-3125
産機事業部 城山工場	〒623-0003 京都府綾部市城山町2 TEL(0773)43-1550
制御システム事業部	〒623-0041 京都府綾部市延町野上畑30 TEL(0773)42-3151
開発研究所	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-4402
東京支店	〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-2-21 TEL(045)545-3313
北関東営業所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3 TEL(0276)63-8158
大阪支店	〒578-0965 東大阪市本庄西1-6-4 TEL(06)6745-8357
名古屋支店	〒465-0025 名古屋市名東区上社5-405 TEL(052)709-5061
広島営業所	〒732-0052 広島市東区光町1丁目12-20 TEL(082)207-0622
九州出張所	〒812-0897 福岡市博多区半道橋1-6-46 TEL(092)411-1724

日東精工株式会社

ホームページ  
環境報告書に関する  
お問い合わせ先

<http://www.nittoseiko.co.jp/>  
生産技術部生産技術課  
e-mail:kankyo@nittoseiko.com

